

グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No.66 号
2025. 1

発行:NPO法人
みどりの市民
〒380-0948 長野市
差出南 2-14-23
ブンゲイ印刷ビル 3階
発行人: 高木直樹

2024 年を振り返り、2025 年に向かって

代表理事 高木直樹



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。今年巳年です。私は 6 回目！の年男です。5 回目の際には還暦を記念して善光寺で豆まきをしました。今年どんな1年になるのでしょうか。

みどりの市民の 2024 年を振り返ると、最大のことは長野県環境保全協会から信州エコ大賞を受賞したことではないでしょうか。私自身も渡辺ヒデ子さんもこのような賞にはあまり関心がなく、自ら応募することはなかったのですが、理事の山口さんから応募したら？と勧めていただいたことをきっかけに応募したところ、選んでいただきました。これまでも一緒に環境活動を行ってきた長野県環境保全協会の賞なので、なんだか気恥ずかしいところもありましたが、こうした賞を頂くことで、みどりの市民を知って頂くきっかけになったり、会員の皆さんにとっても励みになることは受賞して初めてわかりました。

定常的な活動に関しては、少し活動を抑え気味にしました。代表理事・事務局長のタッグを組んで 20 年間に渡り活動をしてきましたが、理事体制の大幅な刷新を図ることが決まっています。新しい体制で再スタートを切りやすくするために活動の抑制をしました。生ごみ減量アドバイザー事業は継続しました。その他に「どんぐり・るるネット」、「エコサロン」などの小さな集まり、プラスチックごみ削減に関する映画会の開催支援などを行いました。

さて今年度 5 月からは新しい体制再スタートが予定されています。新代表理事を中心に刷新された理事により、これまでとはひと味もふた味も違う活動が展開されていくと思います。これからはみどりの市民に関心をお寄せいただき、参加したい活動には積極的な参加を、ご自身でやってみたい活動について発言をしてください。新しい時代に適合したみどりの市民を一緒に育てていきましょう。



《NPO法人 みどりの市民のミッション》

「ひとつの地球 ひとつの生命 できることから ひとつ ひとつ」

《目的》地域と地球の持続可能な社会を実現するために、市民・事業者・行政が一体となって人や自然に配慮した持続可能な循環型社会づくりに寄与することを目的とする。

(NPO法人みどりの市民の定款 第3条より)

「信州エコ大賞“受賞記念パーティー開催”

みどりの市民は、第26回(2024年)*信州エコ大賞(市民団体部門)を受賞致しました。11月22日、受賞記念パーティーが設立21周年記念を兼ねて、カフェウィンズダイモン(長野市大門)で開催されました。

パーティーは、高木代表から信州エコ大賞の受賞報告ではじまり、来賓を代表して長野県環境保全協会専務理事の斉藤様からは温かいメッセージを頂戴しました。



21年間の活動がパワーポイントにより紹介され、懐かしい場面に参加者は月日の流れを実感。会食は元理事の山崎さんの音頭による乾杯で始まり、和やかな雰囲気の中、理事、来賓、プロジェクトメンバーから、一言



ずつ、みどりの市民への関わり・思いなどを語っていただきました。会員同士情報交換しながらの楽しいひと時の2時間はあっという間に過ぎ、前理事の山口さんの三本締めで幕を閉じました。お料理はどれも美味しかったこともあり“食品ロス”にしないをモットーに食べ残しゼロの“完食状態”。当日参加できなかった絹川さん樋本さんか

乾杯!! 受賞を祝して、皆様のご活躍を祈念して山崎元理事の音頭で

ら届いた素敵な花が会場に彩りを添えました。

【*信州エコ大賞:この賞は(一社)長野県環境保全協会の主催で、長野県内に於いて環境保全に貢献し実績顕著な個人、団体、企業に贈られる賞です。】

『みんなのコンポスト』 YouTube 配信のお知らせ <どんぐり・るるネットプロジェクト>



るるネット
コンポストの基材として、竹チップを年に5回配達回収しております。(長野市近郊)



お問い合わせ先
020-217-0514

みどりの市民の「どんぐり・るるネット」プロジェクトでは、堆肥化の様子を『みんなのコンポスト』と題して、YouTube で配信を始めました。

みどりの市民の会員であり、どんぐり・るるネットの会員スタッフでもある田中さんが取材し作成。ITボランティアの倉澤さんがアップしました。

生ごみの堆肥化には、いろいろな方法があります。段ボール堆肥、コンポストなど、皆さんが家庭で頑張っている様子が紹介されています。

生ごみの堆肥化をまだやったことが無い方、関心がある方、堆肥化がいやになった、うまくいかない、面倒になった、困ったなどと思った時に、覗いてみてください。きっと元気がもらえます。

生ごみをまだ土に還していない方、是非、るるネットの会員になり、

生ごみを燃やさないで土に還しましょう。地球温暖化防止にも貢献します。

申込方法はみどりの市民のHPに掲載しています。QRコードは右記です。



どんぐり・るるネット会員募集

【マイクロプラスチックストーリー～ぼくらが作る 2050 年～】

「早川美容商事」による上映支援活動

「早川美容商事」の寄付活用による脱プラ活動事業としてみどりの市民では、ドキュメンタリー映画「マイクロプラスチックストーリー～ぼくらが作る 2050 年～」の上映支援活動を 2023 年 3 月より行っています。すでに、12 月末で8回になります。以下は 11 月 2 日の上映会について、上映後にワークを行った渡辺隆一理事よりの報告です。

≪上映会報告≫

11 月 2 日、安曇野市の穂高交流学習センターにて、右記映画の上映会がおこなわれた。安曇野スタイルネットワークという様々な団体の集まりが毎年秋に安曇野市を舞台に楽しいイベントが多数実施されており、本上映会もその一つです。会場はホールや図書館が併設され、そのギャラリースペースに椅子を配置して自由に参加できるオープンなものでした。

上映には長野県 NPO センター、信州環境カレッジも協働し、みどりの市民も上映後のワークの進行に協力をしました。参加者は親子など 20 名ほどと少なかったが、映画は何度見ても本当にすばらしく、全国の子どもたちにもぜひ見てもらいたいと改めて強く思いました。

上映後、「りゅーいち先生の”わかりやすい環境の話”」を 10 分までというので、子ども向けにドングリを用意して、これは何かな、植えると芽が出るけど大きな木になるには何が必要かなと問い、太陽や水や土が必要だね、そう生き物を育てるものが「環境」なんだねと。ところで君たちが大きくなるのには何が必要かな、と問い、食べ物やお母さんなどとでて、ではプラスチックはどれ位必要かなと考えてもらうことで映画と関連させました。それから参加者の感想をシェアして、私たちにできることを考えてもらい、2 時間の会が無事終了しました。

(報告:渡辺隆一理事)



信州環境カレッジ協賛映画
映画
上映会
マイクロプラスチック
ストーリー
ぼくらが作る2050年

海洋プラスチック問題をテーマにしたドキュメンタリー映画を上映します
ニューヨークの小学生がプラスチック汚染問題を学び、彼らならではの視点で問題の根幹を
深く掘り下げ、解決に向けてアクションを起こしていくまでの過程を撮った
ドキュメンタリー映画です。ぜひ一緒に観て、一緒に考えましょう！！

日時 11月2日(土) 13:00~15:30
13:00~ 映画上映 ※映画は小学校3年生までに読む漢字を使った字幕版です！
14:30~ りゅーいち先生の「わかりやすい環境の話」を聞いてみよう！
14:45~ 感想シェア&私たちにできることを考えよう！

場 所 穂高交流学習センター「みらい」ギャラリースペース
(安曇野市穂高 6165-2)

参加費 無料 出入り自由。隣に図書館も併設されている施設です。
小さなお子様連れでもお気軽にご参加ください！

申込み 長野県NPOセンター
右記申込みフォーム(<https://forms.gle/9N1KE6Xh443rmeAt7>)
または、Tel:026-269-0015 メール:info@npo-nasano.org

主 催 信州環境カレッジ、安曇野スタイルネットワーク、長野県NPOセンター、
信 州 環 境 カ レ ッ ジ 協 賛 会、安曇野市市民活動サポートセンター、
マイクロプラスチックストーリー上映実行委員会



活動報告 エコサロン「ヘチマでSDGsにチャレンジ」

「信州環境カレッジ地域講座」に登録

エコサロンでは、誰もが知っていようと最近あまり見かけないヘチマ、そんなヘチマを使い「SDGs」にチャレンジしました。題して「ヘチマでSDGsにチャレンジ」。

講座準備は 5 月のヘチマの種蒔きから始まり、夏にはヘチマを育てグリーンカーテンとして、9 月の中秋の名月を過ぎた頃にヘチマ水の採取、最後にヘチマの収穫でようやく準備完了。10 月 7 日のエコサロン当日は、まず、エシカル消費とSDGsについて事前学習。ヘチマタワシ作り、ヘチマ化粧水作りは、参加者で役割分担をしてのワークで、地球温暖化防止、オーガニック、脱プラの実践の体験をした。

私たちのくらしはどこを見ても、プラスチックだらけ、あまりにもプラスチックに慣れてしまっている。ヘチマを育て、ヘチマタワシ、ヘチマ化粧水を使用することは、自然からのプレゼントをいただくこと。自然に寄り添い未来の子どもたちのためにゼロカーボンを目指しましょう。「SDGsにチャレンジ」は意外に暮らしの中にあります。



12月3日 はっこうサロン “IKIKI” ようやく軌道に！！



気軽に生ごみのこととお話したり相談できる場づくりとして始めた「はっこうサロン“IKIKI”」。申し込み不要、途中からでも、早引けもオッケー。堆肥化についての悩みが解消でき、堆肥化も継続できるのではと、みどりの市民会員の生ごみ減量アドバイザー有志により今年の11月から始まりました。これま

での会場は柳原交流センター、ふれあい福祉センター、篠ノ井交流センターと市内3カ所で開催しています。

5回目となる12月3日の会場は第1回目と同じ柳原交流センターでした。一般参加者は6名で、今回のサブタイトル「柿酢にチャレンジ」に魅かれて参加、自己流にやっているけど堆肥化がうまくいかない、これでよいのかと堆肥化実践中のものを遅れながらも持参、用事があり早退する人など、参加状況はまちまち。しかし、サロンでのお話やアドバイスや情報交換で、皆さん“IKIKI”はいきいきとなり終了することができました。



【一口メモ】柿酢：柿の天然酵母を使い、柿の糖分をアルコール発酵させて柿酢が簡単に作れます。柿は渋柿、甘柿なんでもオッケー。柿のヘタや黒いところを取り、保存瓶や甕などに入れて時々かき混ぜて保存し、2～3カ月位で自然に柿酢が出来ます。後は濾して下さい。(酢と同じように使えます。やり方はいろいろあります。)

お知らせコーナー (参加者募集中)

生ごみ減量アドバイザー公開研修会(3回)
講演:「気候変動・食料危機・有機物循環」
講師:吉田太郎氏(農政ジャーナリスト)
日時:1月27日(月)13:30～15:30
場所:ふれあい福祉センター5階ホール
定員:30名(先着順) **参加無料**

はっこうサロン“IKIKI”～生ごみ堆肥化相談室～
とき:1月18日(土)10時～12時
ところ:篠ノ井交流センター4・5
参加費:無料、ちょっとお立ち寄り下さい!
生ごみ堆肥化困りごと相談・発酵漬物など

予告
中小企業者サステナビリティ自主調査
成果報告
日時:2025年3月5日(水)14:30～16:30
場所:長野市生涯学習センター第1.2学習室
長野県内で頑張っている中小企業のサステナビリティな取り組みを知ることができます。
・主催: NPO法人環境市民、
共催: (一社)長野県環境保全協会、長野県中小企業家同友会、NPO法人みどりの市民
・参加無料 どなたでも参加できます。(申し込み必要)

《申し込み方法》

下記みどりの市民の事務局へメール、TEL、faxで、お名前、連絡先をご連絡ください。

みどりの市民の会員数 (2024年12月1日現在)
正会員 37人 賛助会員 12人 団体賛助会員 1団体

〒380-0948 長野市差出南 2-14-23 プンゲイ印刷 3階
TEL&FAX 026-217-0514
E-mail: midoric2023@gmail.com
URL <https://midorinoc.sub.jp/>



《陽だまりの窓辺で》新しい年が明けて早一週間。雪かと思ったら外は雨。今年は寒いはずなのにはて? やはりヘンダ。メールでのお誘いは家庭の省エネの講義。私も参加して少しでもこの温暖化防止に貢献しよう。でもそんなことで間に合うのかな。どこかの国みたいに、温暖化なんて嘘だ、もっと化石エネルギーを使用して景気をよくするのだと声高に叫んでいるリーダーのいる中で、この瀕死の地球を救おうと本気で取り組むリーダーはいないのか。私たちは何をすべきか。(h.w)